

令和7年度 第2回 砂川市小中一貫教育推進委員会 会議記録

○日 時 令和7年7月24日(木) 16:00～17:10 (所要時間＝1時間10分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】(14人)

【教育委員会】(6人)

【事務局】(5人)

○傍聴者 なし

○議事記録

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 報告事項

(1) ワーキンググループの開催について

(2) 第1回家庭学習チャレンジ週間の分析・考察について

【議事の内容(要旨)】

(1) ワーキンググループの開催について

事務局 小中一貫教育推進委員会には、令和7年度は6つのワーキンググループを設置しており、各ワーキンググループの開催状況をまとめているので確認したいと思います。

まず1番、学校経営ワーキンググループは、記載のとおり1回の会議を開催しております。2番、教育課程ワーキンググループは4回、3番、指導活動ワーキンググループは3回、4番の学校連携ワーキンググループも3回、5番の学校事務ワーキンググループは2回の会議と、ワーキンググループが中心となって企画した取組として、家庭学習チャレンジ週間が1回行われています。

各ワーキンググループにおける具体的な協議内容や取組の詳細は、この後の報告事項や協議事項の中で、各グループ長さんからご説明いただきますので、ここでは以上の形式的な報告のみとさせていただきます。

委	員	(2) 第1回家庭学習チャレンジ週間の分析・考察について 「第1回家庭学習チャレンジ週間事後アンケート」の集計結果をご覧ください。全体で258件の回答があり、「お子さんの学習時間は、目安の時間に届いていましたか」「お子さんは、いつもより意欲的に勉強に取り組もうとしていましたか」「保護者の方からお子さんに励ましの声をかけていただけましたか」の各問いに対して、8割程度の保護者が肯定的な回答をしています。記述欄の回答には、この取組に対する否定的な意見もありますが、次年度の砂川学園での取組にもつながる事業ですので、取組の目的を理解していただいた上で継続していきたいと考えます。また、「体力づくりのチェック欄を設けてほしい」という意見がありましたので、子ども目線・保護者目線に立ち、次回からチェック欄を追加する方向で考えます。
会	長	学校連携ワーキンググループより報告がありましたが、ご質問など、ございませんか。
委	員	体力づくりについて、次回からチェック欄を追加したいというようなことだったのですが、年度途中の変更はあまり望ましくないのではないかと思います。アンケートの結果のうち、そういった意見が見られたのは一部だと思っているのですが、その辺りがワーキンググループの中で熟議されたことであれば、それは尊重したいなと思いますが、小中一貫教育推進委員会の委員の立場で言うのであれば、あまり良い対応とは言えないのではないかと思います。
会	長	体力づくりのチェック欄の部分について、学校連携ワーキンググループの方で議論が行われたのであれば、その経過等も説明いただけたらいいかなと思うのですがどうでしょうか。
委	員	ワーキンググループの中ではこういった意見が出ているということで、チェック欄を追加する方向で考えていきたいということにはなっています。ただ最終的な決定権はこの場にありますので、次回のシートを作成するにあたって、この場で委員の皆さんからの意見を基に、方針を決定できればと思います。
会	長	こちらについては大変肯定的なご意見なのかなと思います。学力のみならず体力についても一生懸命取り組んだということを子どもに自覚させたり、チェックしたものを先生にも見てもらいたいという想いから、こういった自由記述を保護者さんが書かれたのかなと思います。一方で、あくまで家庭学習チャレンジ週間については中学校の定期テストの時期に合わせて家庭学習を頑張ろうと集中的に取り組むということを全市的にやってみようという趣旨もありましたので、ご意見のとおりの部分もあるかと思うのですが、この辺りについてももう少しご意見を頂戴できればと思います。いかがですか。

委員 シートの内容を変えるのは難しいかなと思います。体力作りは大事だとは思いますが、チャレンジ週間にその体力づくりというのを持ってくるのは疑問に思うところはあるので、現在のシートで進めた方がいいかなと考えます。

会長 ありがとうございます。他、どうでしょうか。

委員 私も意見が出ているとおり、学力と体力のどちらも大事なのですが、これをセットにするのは難しいかなと思いますので、今回は見送りでもいいのかなと思います。

会長 ありがとうございます。他、いかがでしょうか。

委員 家庭学習の中に体力の項目を入れるのは違和感があると思いますので、来年度に活かすなどの方法で、こちらの意見が活きてくればいいなと思います。今年度について変更は必要ないのではないのでしょうか。以上です。

会長 委員の皆さんからの意見をまとめますと、ワーキンググループで議論した経緯については一定の理解を示しますが、家庭学習チャレンジ週間についてはあくまで家庭学習の確認をするためのものだという認識であるため、シートの変更については実施せず、従来の様式で続けていくという方針で確認してもよろしいですか。

ではそういった方針でよろしくをお願いします。一方で「この時期だけ頑張ればいいと勘違いするのでやめるべき」というご意見も記載されているのですけれども、もともと、砂川市の小学生・中学生ともに家庭学習の取組が充実しないというところから「家庭学習習慣をつける一つの起爆剤にする」という目的でこの取組が始まったものと承知しています。未だに「この時期だけやるものだ」というような意識があるのだなという課題を突きつけられるような意見だと思うので、この辺りについては家庭学習の意義であるとか、取組を通してどういう姿を目指しているのかという辺りについて、学校便り等で、丁寧に各校で保護者さんに発信していく必要があるのかなと考えました。

その他よろしいでしょうか。

それでは以上で報告事項を閉じたいと思います。

4. 協議事項

- (1) 学校経営ワーキンググループにおける協議について（非公開）
- (2) 教育課程ワーキンググループにおける協議について
- (3) 学校連携ワーキンググループにおける協議について
- (4) 学校事務ワーキンググループにおける協議について
- (5) 指導活動ワーキンググループにおける協議について（非公開）

【議事の内容（要旨）】

委員	(2) 教育課程ワーキンググループにおける協議について 本ワーキンググループの「活動のねらい」と「ゴール」については、1 ページに記載のとおりです。
	取組内容をご覧ください。赤字が令和6年度に取り組んだ内容、青字は令和7年度に取り組む内容です。この中から、4月以降に開催した3回の会議で協議した内容についてご説明いたします。
	まず、教育課程の編成に関することです。これまでは、小学校と中学校で別々の様式としておりましたが、砂川学園開校後は、1年生から9年生まで共通の様式とすることを検討しています。令和6年度の時点で、小学校の単元配当表と年間指導計画については市内共通のものを使用していますので、基本的にこれを前期課程のものとして流用し、現在、砂川中学校で使用している単元配当表と年間指導計画を後期課程のものとする予定です。なお、全国学力学習状況調査・NRT等の結果を踏まえ、指導計画の一部に変更が生じた場合は、修正作業を行います。
	次に「総合的な学習の時間」の指導計画に関することです。全体計画と3年生から9年生までの月別指導計画については、ほぼ完成していますが、9年生の修学旅行の日程と内容に変更が生じたので、計画の一部を変更する作業を行います。
	次に時間割の編成及び特別教室の割当てに関することです。現在、小学校においては学級担任、中学校においては教務部・時間割係が時間割作成の作業を行っているところですが、砂川学園においては、前期課程と後期課程に時間割係を1名ずつ置く予定です。10ページは特別教室基本割当表です。体育館を含め、11の特別教室の使用割当てを25の通常学級に加え、特別支援学級に割当てする作業が必要となります。現在、中学校では、Excelで作成したシステムを使って時間割編成や時数管理を行っていますが、今後、前期課程の時間割編成及び時数管理の方法、前期課程の授業に入る後期課程の教員や専科教員の授業調整及び時数管理をするためのシステム構築についての検討が必要です。
	次に、令和8年度砂川学園行事予定表をご覧ください。4月の開校式・始業式の日程については、当初、4月10日前後を予定していましたが、引っ越しや開校準備のためにある程度まとまった時間が必要であるという判断から、4月14日（火）スタートとしました。このことに伴い、5月と6月を中心に、行事日程の見直しを図りました。9年生の修学旅行につきましては、行き先の変更に伴い、6月1日（月）から3日（水）

の3日間で実施することとなりました。2nd ステージと3rd ステージの体育祭は5月29日（金）、1st ステージの運動会は6月13日（土）の開催を予定しています。8年生の宿泊研修は、当初、5月中旬頃を予定していましたが、取組日程に余裕を持たせるために、令和8年度に限り、秋に実施することとし、10月1日（木）・2日（金）に変更しました。

6年生が前期課程を修了し、後期課程に進級する節目の行事として、「後期課程進級式」を実施することとしました。3ステージ制が定着すると考えられる開校後2から3年後を目途に、この進級式の在り方については再度検討することとします。

【別添2】の15ページをご覧ください。砂川学園の日課表です。昨年度のワーキンググループで検討し、作成しましたが、下校バスの時刻に一部変更が生じたので、それを反映させました。ご確認ください。

このほかに、資料はありませんが、ワーキンググループで検討した事項について口頭でご説明いたします。

最初に、後期課程の体育で行う「武道」の扱いについてです。砂川中学校では、1・2年生で柔道を実施しています。現在の体育科の教員は柔道の指導が可能ですが、砂川学園に柔道の指導が可能な教員が配置されるかどうかは、現時点では分からず、外部講師の依頼についても難しい状況にあります。剣道であれば、剣道連盟を通して外部講師に指導を依頼することが可能です。しかし、防具がないため、指導内容が限られてしまうという課題があります。このような状況を踏まえ、現時点では、今後の方向性について決定することが難しく、次年度以降も検討を重ねていく必要があります。

次に「指導要録」の記入要領についてです。現在、砂川市内の小・中学校には、砂川市教育委員会が平成24年に作成した「指導要録記入の手引き」が配付されていますが、作成から10年以上が経過しているため、砂川学園開校に合わせて改訂版を作成する準備を進めています。

次に、授業開始・終了時の挨拶についてです。砂川学園では基本的にチャイムのない学校生活を送ることとなるため、授業の始まりと終わりの区切りを明確にする挨拶は必要であると考えます。ただ、1年生から9年生までの全学年で統一した号令・挨拶とすることは、児童生徒の発達段階を考えると困難ですので、3つのステージごとに挨拶の仕方を検討することとしました。また、起立はせずに、座ったまま挨拶をするということを確認しました。

最後に学級経営計画の様式についてです。砂川学園開校時の校長の考え方による部分もありますので、本ワーキンググループでは様式を決めませんでした。ある程度統一した様式を用意しておくことにより、全教職員が同じ方向を向いて日々の学級指導を展開できるようになるのではないかと考えます。

会 長 ありがとうございました。かなり詳細な中身について検討がされてきたという内容だったかなと思うのですが、量が多いので区切りながら進めていきたいと思います。

教育課程の編成届の作成要領やその様式について検討した中身が示されております。

こちらの説明、もしくは別添資料に関わってご質問ご意見等ございませんか。これは現在の教育課程編成届の小学校部分と中学校部分をそれぞれ参酌した内容なのかなと思いますがいかがでしょうか。よろしいですか。

では、次に行きます。総合的な学習の時間の内容について、修正を加えた部分の説明がありました。こちらについては昨年度、教育課程ワーキンググループである程度完成を見た内容ですけれども、教育内容に若干の変更を見据えながら修正を加えたという部分になってございます。こちらの内容についてご質問ご意見ございませんか。よろしいでしょうか。

では次に行きます。基本時間割の作成についてということで前期と後期の基本時間割を作成するにあたって、特別教室の基本割当表の作成を並行して行い、またシステムの構築については Excel を使うのかなど、検討を要する部分がまだ残っているというようなお話がありました。ちなみに 10 ページの方には特別教室の基本時間割表の例ということで示されています。かなり具体的な形で示されてきているかなと思うのですが、9 ページから 11 ページまで、特別教室の割当表の部分までで、ご質問ございませんか。

委員 時間割はもう始まってみないと何とも言えないところだとは思いますが、コマの中で学年部会みたいなものが入れられたら良いのかなと思うのですが、その辺りが教員の配置数や持ち時数の関係で可能・不可能という話になってくると思うのですが、教育課程ワーキンググループの中で話題には出たのでしょうか。

会長 質問ですね、回答をお願いします。

委員 はい。具体的にそのような話題は出ていないので、次回以降のワーキンググループの中で、委員の皆さんからこういう意見が出ましたって辺りをシェアしながら、進めてまいりたいと思います。

会長 ありがとうございます。現在砂川中学校では週に 1 回、生徒指導委員会をコマの中で授業がある先生を抜いた状態でやっています。子どもの不登校ですとか、いろいろな問題行動への対応について各学年の共通理解を図るため、やっているのですが、放課後の時間を確保するという働き方改革の視点からも、できればそういった特別委員会を、空き時間に該当の先生を揃えて、その時間の中で会議を行ってしまうというのが可能であれば、余裕を持って放課後を迎えられるようになるかなと思いますので、どれぐらい実現可能性があるのかというところ、専科とかの絡みもあるかと思うのですが、教育課程ワーキンググループで、また次回以降俎上に挙げながら実現可能性を模索していただければと思いますのでよろしくお願いします。

その他よろしいですか。

事務局

今まとめていただいたように、昨年度の時点で砂川学園の方針の部分で、コマの中で、そういった特別委員会を行って、できるだけ放課後の時間的余裕を生み出すというようなことも言われておりましたので、組んでみないと分からない部分もありますが、ワーキンググループの方でも検討を進めていくような形をとりたいと思っております。

また時間割のシステムも、基本的に Excel 表計算ソフトを使っていると思うのですが、ワーキンググループの中でも、市販のもので専用のソフトウェアもあるのですが「どうだろう」という話になってはいます。「結構細かいところで融通が利かないから結局 Excel でやった方が良いのではないか」とか、そういった話も今進めているところです。そういったシステムの構築という面についても、この後検討させていただきたいと考えています。

会長

ありがとうございます。他よろしいですか。

次、年間行事予定の方に移っていきたいと思います。現時点のもので、4月から3月まで載っています。特に赤字のところに着目してということなのですが、開校初年度、準備に時間がかかることを見込み、開校式・始業式・着任式を4月14日スタートというふうにかなり遅らせた形になっています。また9年生の修学旅行が5月に入っていたのですが、こちら行き先を東京・横浜方面に再設定をして6月1日から3日にするという調整から、その他の行事をスライドしながら修正をかけていったということになります。

旅行行事はその関係で8年生の宿泊学習が10月1・2日ということで、下半期の方に動いていますけれども、こちらについては令和9年度からはスタートも早くなると思いますので、また時期も変更になっていく可能性があるのかと思いますが、開校初年度の現段階での行事を組んだ内容ということになっています。この年間行事予定表について、ご質問ご意見ございませんでしょうか。

備考のところに、PTA総会とかそういった部分も掲載はされていますけれども、今PTAのあり方も市P連の方で検討が進んでいるというところですのでこちらについても、なくなったり大きくずれたりということもありうる現段階のものという押さえで見ていただけたらと思います。よろしいでしょうか。

この後も引き続き教育課程ワーキンググループの方で、行事の見直しと合わせて授業時間のコマ数、こちらの方の洗い出しも行われていくと思いますのでよろしくお願いします。

では続いて後期課程進級式ですね。これは別紙、新たなものが机上配布されていたと思うのですが、こちらについては新たに前期課程から後期課程に変わる1つの節目として、実施してはどうかと検討された内容ということで提案がありましたが、こちらの進級式についてご質問等ございませんでしょうか。こちらについてはとうべつ学園とか歌志内学園なんかでもやっていると承知はしているのですが、制服に切り替わる1つのタイミングというようなことで、保護者さんにもその様子を見ていただくというような意味合いもあろうかと思いますが、こちらの部分について

はよろしいですか。

それではこちらも年間計画に組み込んで作っていただけたらと思います。その他です、例えば授業の挨拶のことなど、教育課程ワーキンググループで協議された部分について説明がありましたけれども、説明全般を通して質問や確認を要する部分はございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは教育課程ワーキンググループの分については以上で終わりたいと思います。

(3) 学校連携ワーキンググループにおける協議について

委員長 本ワーキンググループの「活動のねらい」と「ゴール」については、2ページから3ページに記載のとおりです。

3ページの取組内容をご覧ください。本ワーキンググループでは、昨年度に引き続き、「家庭学習チャレンジ週間」「乗り入れ授業」「5校交流会」「合同遠足」「学年交流会」の取組を推進し、小学校の児童間での交流を深め、砂川学園への円滑な移行を図ります。取組スケジュールは、【別添3】のとおりです。すべての交流事業を9月から12月までの期間に実施し終えるようスケジュールを変更しました。このことに伴い、5・6年生の合同遠足と5校交流会を一体化した実施計画を立案しました。5校交流会のねらいを合同遠足の中に組み込んだ形となっており、目的地到着後、5校でレクリエーションを実施します。予備日も含めて、屋外での活動ができなくなってしまった場合は、砂川小学校体育館を会場として5校交流会を実施します。年明けの1月から3月の期間は、砂川学園への移行に向けて準備を進めるとともに、子どもたちが閉校前の学校で、仲間と一緒に最後の思い出作りをするための大切な期間として位置づけます。

会長 別添3の推進スケジュールです。当初のプランと変更になっているところがあるという説明でした。特に交流行事については2学期間にどんどん終わらせるように前倒しするというか、そういった計画になっているというような形です。あと合同遠足については雨天時からさらに延期した日も駄目だったときの内容まで検討されたというようなことでしたが、ただいまの説明について、質問等ございませんか。よろしいですか。

こちらについては、準備・企画・運営とそれぞれの学校の先生方の力を借りながら、子どもたちが円滑に統合に気持ちを向けていけるように取り組んでいただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

(4) 学校事務ワーキンググループにおける協議について

事務局 資料は別添4になりますので、そちらをご覧ください。

学校で徴収する金銭を取り扱う私費会計については、市内6校の実態を踏まえ、砂川学園において、事務職員がどの範囲まで取り扱うのかについて検討を進めています。また、できるだけ、教員が金銭管理に携わる必要のない体制をつくることを念頭に置く必要があると考えています。

次に諸経費の「引き落とし口座」についてです。現在、どの金融機関に口座を開設するのかについて検討を進めているところです。開校前の学校の口座を事前に開設することができるのかどうかについては、現在、調査中です。金融機関が決定しましたら、児童生徒の保護者による個人口座の開設、振込依頼書（自動払込利用申込書）の提出等、手続きの流れを決定し、保護者への周知を図ります。また、2名配置される事務職員の業務分担の在り方についても、検討を進めていきます。

このほか、会議の中で事務職員の皆様から出された質問や意見に対する回答、確認・調査等を行っています。

会 長 学校事務ワーキンググループの協議がされてきた内容ということで今説明がありました。実際に事務職員が集まって検討する中で、なかなか一般の先生方が気づかないような、本当にテクニカルな中身が協議されているというところですが、現段階としては、学校がまだ開校してない中で新規の口座を開設できるのかどうかを照会中ですが、ここのレジメにはないのですけれども、例えば職印を用意しなければならないとか、そういったちょっと細かい視点の協議もされているというように承知しています。学校事務ワーキンググループで協議されている内容について質問等ございませんか。よろしいでしょうか。

まだ調査中の案件もありますので内容が具体的になってきた段階で、また新たに確認等もあるかなと思いますのでよろしくお願いいたします。

7. その他

【議事の内容（要旨）】

会 長 以上予定されていましたが、案件は全て終了したところではありますけれども、皆様から何か話し合っておきたいこと等あればお願いしたいと思いますが、何かございますか。よろしいですか。事務局から何がございせんか。

事 務 局 次回の予定ですが、ワーキンググループの取組状況を見ながら開催時期を考えたいと思っております。また日程調整をさせていただく際にはですね、改めてご協力をお願いしたいと思います。

会 長 進捗状況を踏まえて第3回の日程調整ということですので協力をお願いいたします。皆様方より他になればこのまま閉会という形を取らせていただこうと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは以上をもちまして、第2回小中一貫教育推進委員会を閉会させていただきます。大変お疲れ様でした。

以上